

年 組 名前：

岩手県沿岸部を走る第三セクター三陸鉄道は6日、地元産のアワビやマツタケをぜいたくに使用した弁当を車内で楽しむ「あわび列車・まつたけ列車」の運行を始めた。県内外から訪れた予約客が、車窓の景色を眺めながら豪華食材に舌鼓を打った。開業40周年を記念した企画で、11月10日まで計8回運行する。

「あわび列車」は盛駅から釜石駅まで約1時間走り、メニューは「三陸産あわび弁当」（4500円）など。釜石発盛行き「まつたけ列車」

列車でアワビ、マツタケ堪能



三陸鉄道の「あわび列車・まつたけ列車」
岩手県大船渡市

岩手・三陸鉄道40周年企画

には、数量限定の「岩手県産まつたけ弁当」（5900円）などがある。三鉄によると、いずれも初運行のこの日、家族3人で乗車した同県釜石市の女性は「アワビが丸々1個に、イクラもあつた。やわらかくておいしかった」と笑顔。車内で沿線のガイドも行われた。

岩手では秋が旬の味覚として親しまれている。初運行のこの日、家族3人で乗車した同県釜石市の女性は「アワビが丸々1個に、イクラもあつた。やわらかくておいしかった」と笑顔。車内で沿線のガイドも行われた。

10月19、27日、11月2、3、4、9、10日が運行日。あわび、まつたけ列車とも1日1便で、乗車4日前までに予約が必要。問い合わせは三陸鉄道釜石駅、電話0193(22)1616。

(2024年10月7日付 山梨日日新聞19面)

問1 「あわび列車」と「まつたけ列車」は、何鉄道を走りますか。

.....

問2 あわび列車は、何駅から何駅を走りますか。

・ 駅から 駅まで

問3 なぜ列車に、この名前を付けたのですか。

.....